2026（令和8）年度　学校評価　教員対象中間アンケート結果　（回収率　78．7%）

| | |
|---|---|
| 本年度の重点目標 | 1 「学びの充実」<br>　各コースに応じて、教科・科目で授業の研鑽を行い、主体的・対話的・深い学びの実現を目指す。<br>2 「創る未来」<br>　変化していく社会の現状を把握し、自らが考え、将来の目標ができるようにキャリア教育の充実を図る。<br>3 「高まる能力」<br>　探究学習・ICT教育を通じて、生徒たちの潜在的な能力を高め、自信にあふれ積極的に行動できる力を育てる。<br>4 「深まる人格」<br>　朝礼・集会・学校行事を通じ、建学の精神に基づいた情操教育活動の中で、互いに高め合い認め合う人格を形成する。<br>5 「豊かな経験」<br>　高校生活での様々な活動を通じて、他者の考えを理解し、自己の考えを他者に伝えることができ、多様な文化・考えを持つ人々とも協働できる力を育てる。<br>6 上記5つの目標を連携させ、「知識・技能を身につけ、行動力を持って社会貢献でき、これからの時代を生き抜く力を持つ生徒」の育成に努め、「えいざんスピリット（思考力・判断力・表現力・自己肯定力・主体性・協働性・寛容性）」の獲得をはかる。<br>7 生徒・教員の人権意識の向上や個性を認める支援の充実をはかり、いじめ・体罰を許さず、人と人の絆を大切にする集団づくりを目指す。<br>8 学校図書教育を充実させ、授業と図書室の接点をはかる。<br>9 教科会議が主体となり、学力向上の対策に取り組む。また、大学入学共通テストや新学習指導要領に対して、その研究と対策を進める。<br>10 目指す生徒像やそのための取組み・部活動実績・進学実績など、本校の魅力を広く伝える広報活動の充実をはかる。<br>11 生徒・教職員の心身の健康維持・増進をはかる。さらに充実感・達成感が実感できる学校環境・職場環境を整える。 |

| | | 今年中間 | 昨年最終 |
|---|---|---|---|
| 1 学校運営 | 学校の教育方針や教育目標、教育活動について理解が得られるようわかりやすく説明している。 | A | A |
| | 学校の教育方針や教育目標が実現できるよう具体的な取り組みを進めている。 | B | A |
| 2 教科指導 | 授業を工夫し、生徒の能力を高め、生徒自らが考える主体的な学習が行われている。 | A | A |
| | 教科会議を経て、各コースの特性に合わせた適切な学習指導が行われ、個々の学力に応じた個別最適教材を提供できている。 | A | B |
| 3 生活指導 | 掃除・挨拶を中心に、基本的な生活習慣の確立に向けた効果的な指導ができている。 | A | A |
| | 規則や規律を守る指導が適切に行われ、社会の一員としての意識を高める取り組みができている。 | A | A |
| 4 進路指導 | 各コースの特性に合わせた進路計画マップを明示し、適切な進路指導が行われている。 | A | B |
| | 生徒自らが将来の目標を達成できるよう、進路に関する情報や資料の収集、およびそれらの提供が適切に行われている。 | A | A |
| 5 特別活動等 | 朝礼・集会・叡友祭などの学校行事を通じ、互いに高め合い認め合う活動が行われている。 | A | A |
| | 部活動が顧問の指導の下に、生徒が主体性を持って取り組む活発で有意義な活動となっている。 | A | A |
| 6 学校図書館 | 図書室の情報を提供し、図書室の利用を促進するように努めている。 | A | A |
| | 思考力・判断力・表現力を養う上で、読書の重要性を説き、その延長線上に図書室利用を適正にすすめている。 | B | B |
| 7 保健指導 | 日常の健康観察に努めるとともに、生徒のけがや病気に対して適切な対応ができている。 | A | A |
| | 保健だよりなどの情報提供などにより、健康・安全に対する意識の向上に努めている。 | A | A |
| 8 人権教育 | 諸行事などをはじめとして、個々の生徒がお互いを尊重し合えるような集団づくりに努めている。 | A | A |
| | 教員が自らの人権意識向上に努め、多様な生徒の個性を認める支援や啓発を適切に行っている。 | A | A |
| 9 環境教育 | 清掃活動などの指導を通じて、奉仕の精神と美化意識の向上に努めている。 | A | A |
| | 日常のゴミ分別の指導や節電への取り組みや探究学習を通じて、環境問題に対する意識を向上させる努力がなされている。 | A | A |
| 10 事務・管理 | 教育活動に必要な備品、消耗品についての整備がなされている。 | A | A |
| | 個人情報の管理を含め、適切な文書管理が行えている。 | A | A |
| 11 その他<br>学校の取り組み | 厳粛な朝礼および朝礼訓話を通じて、生徒の精神的な成長を促す取り組みが行えている。 | A | A |
| | クラス担任・学年主任が中心となって、保護者との連携が行われている。 | A | A |
| | 学校生活の様々な場面で、体罰やいじめの防止および早期発見に努め、迅速な対応が適切に行なわれている。 | A | A |
| | ホームページ等を活用して、教育活動・学校案内についての情報発信に努めている。 | A | A |
| | 教育相談体制が整備され、個々の事例に対して協働して支援する体制づくりに努めている。 | A | A |
| | ICT機器を用いるなどして、生徒の主体的、能動的、協働的な学習や活動が深まるように努めている。 | A | A |
| | 諸外国の文化や価値観を理解し、国際社会の問題について身近に考える取り組みができている。 | B | B |

（注）・評価表の見方　・評価者は、教職員による。
・ABCDの基準は、肯定的な評価が75%以上をA、50%以上75%までをB、25%以上50%までをC、25%未満をDとする。

4月　学校の教育目標に基づいた評価項目の公表
10月　中間評価の公表（8月までの教育活動に対する中間評価）　ABCDの4段階で示す。
12月　保護者による評価の公表（2学期末までの教育活動に対する評価）　ABCDの4段階で示す。
3月　総合評価の公表（年間の教育活動に対する総合評価）　ABCDの4段階で示す。